

山北町第4期地域福祉計画・第6次地域福活動計画・
第2次こころの健康対策事業計画(案)に対する
意見募集(パブリックコメント)の結果

1. 募集期間 令和6年1月 17 日(水)から1月 31 日(水)まで
2. 周知方法 ・広報やまきたおしらせ版
・町公式ホームページ
3. 閲覧場所 町役場福祉課、清水・三保支所、町公式ホームページ
4. 提出方法 直接持参、郵送、ファックス、電子メール
5. 意見数 1件(1名)

【内訳】・町内在住者 1名
・電子メール 1名

6. 意見及び町の回答

No.	項目	提出されたご意見	町の回答	修正の有無
1	アンケート調査から見た現状	<p>「介護予防・日常生活圏ニーズ調査」結果について</p> <p>介護認定を受けていない、65歳以上の、健康で自立性のある町民の方が、町の人口統計をみても、大きなボリュームゾーンを成していると言えると思う。</p> <p>そして、ボランティアグループへの参加について、今は参加していないが(61.8%)、是非参加したい5.7%、参加しても良い45.8%と、かなりの方がポジティブな返事をされておられるのは、注目すべき点だと思う。</p> <p>人の役に立つことの嬉しさや、社会に参加している実感を持つことは、その人の人生を生き活きとさせ、結果として老化の予防にもつながるはず。だからこそ、山北町としては特に注目して、アイデアを出し合い、実現させていくことが大切だと思う。</p> <p>それはひいては、町の住みやすさや、住民の幸福度の向上にもつながるのではないだろうか。</p> <p>あと、ボランティアといっても、人のためというよりは、自分の好きなことを通じて、それがサークル活動のように実行できるといいのではないだろうか。例えば自分の場合で恐縮だが、小学校、中学校、そして時々こども園で絵本読みをさせて頂いているが、自身が絵本が好きでやっているだけで、ボランティアと特に構えて参加しているわけではない。その活動を通じ、知らなかった絵本を知ることができるなどの、楽しみもある。</p> <p>例えばこんなボランティアがあったら有難いと、児童を育児中の親として思うことのひとつは、「囲碁将棋サロン」だ。リタイアした方が、日中、子どもに囲碁や将棋を教えて下さる場所を、作っては頂けないだろうか。その部屋は、町の方で提供して頂き(駅の近くのどこかを借り上げて頂くか、生涯学習センターの中はどうだろうか、もし</p>	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。</p> <p>ご意見のとおり、本町の高齢化は今後も進捗していくと推計されておりますが、マイナス面ばかりではなく、地域のポテンシャルと捉えて、町全体で創意工夫し、協力しながら取り組んでいくことが重要だと考えられます。</p> <p>高齢の方が活躍できる場、子ども達や地域の方に提供できる場の環境づくりを図ることにより、老化の予防や地域住民が住みやすい環境づくりに繋がると考えられます。</p> <p>いただいたご意見につきまして、今後の本町の福祉施策の参考とさせていただきます。</p>	修正なし

	<p>くは建設予定の体育館も良さそう)、週に一度でもいいので、いつでも出入り自由で、集える場所があったらいい。</p> <p>もしくは、子どもに裁縫を教えて下さる場があればいいのに、と思うこともあった。自分自身がとても苦手だから自分ではできないけど、その楽しさを教えて下さる方がいればいいのに・・・と。</p> <p>もちろん、子ども相手だけでなく、高齢の方や、障害をお持ちの方のためになるような活動もあったらいい。最近、ウーバーのアプリを使ったライドシェアの導入はどうかという意見も出てきているようだが、そこを、この町では、独自に共助的な仕組みを作ることにはできないだろうか(出かけない理由として、交通手段がない、というのも多いので)。が、この場合は、車の維持費やガソリン代、保険等、検討すべき課題もあると思う(例えばだが、こういうときは、町内で使える商品券を謝礼として町から渡す、という方法などは考えられないだろうか?)。</p> <p>高齢化の進む町の今後を、マイナス面ばかりでなく、ポテンシャルとして捉える所を探し、皆で知恵を出しあいながら、町民、行政、社協、議会等、皆で協力して、取り組む姿勢を作っていけたらいいと思う。</p>		
--	---	--	--